

利用者負担額の再設定

サービスの利用は、所得区分を自立支援医療重度かつ継続等に併せて再設定する。以下、令和3年1月の障害福祉サービスデータを基に試算する。

	現在の自己負担額				⇒	提案:自己負担額			
	利用者実数(万人)	利用者月額負担上限額(円)	利用者負担額(億円)	推計利用者月額負担額(億円)		利用者実数(万人)	利用者月額負担上限額(円)	利用者月額負担額(億円)	推計利用者月額負担額(億円)
一般2	1.4	37,200	2	24	⇒	1.4	20,000	2	24
一般1	5	9,300	2.8	33.6	⇒	5	10,000	2.8	33.6
低所得者	71.7	0	0		⇒	71.7	2,500	17.9	214.8
生活保護	13.3	0	0		⇒	13.3	0	0	0
計	91.4		4.8	57.6	⇒	91.4		22.7	262.3

利用者の実質的な負担額を、一般2を14,300円、一般1を5,600円、低所得者を2,500円として、試算した。

自立支援医療 重度かつ継続

一定所得以上	20,000円
中間所得2	10,000円
中間所得1	5,000円
低所得2	5,000円
低所得1	2,500円
生活保護	0円

難病 高額かつ長期

上位所得	20,000円
一般所得Ⅱ	10,000円
一般所得Ⅰ	5,000円
低所得Ⅱ	5,000円
低所得Ⅰ	2,500円
生活保護	0円